



山武農業事務所 改良普及課  
TEL:0475-54-0226  
FAX:0475-52-7914

## 山武地域の生育状況

梅雨に入り、気温は平年より高く推移しています。ほとんどの品種で幼穂形成期を平年並みに迎えており、穂肥の散布時期を迎えている品種もあります。分施体系で管理されている方は施用が遅れないように注意してください。一方、移植以降の大雨や還元害により生育抑制が続いていたほ場では、茎数がやや少ない傾向です。

また、6月27日発表の気象庁の2週間気温予報では高い気温が続くことが予想されています。高い気温と多照が続くと、出穂期が早まるため、葉いもち・紋枯病・カメムシ類の防除準備を早めに行いましょう。

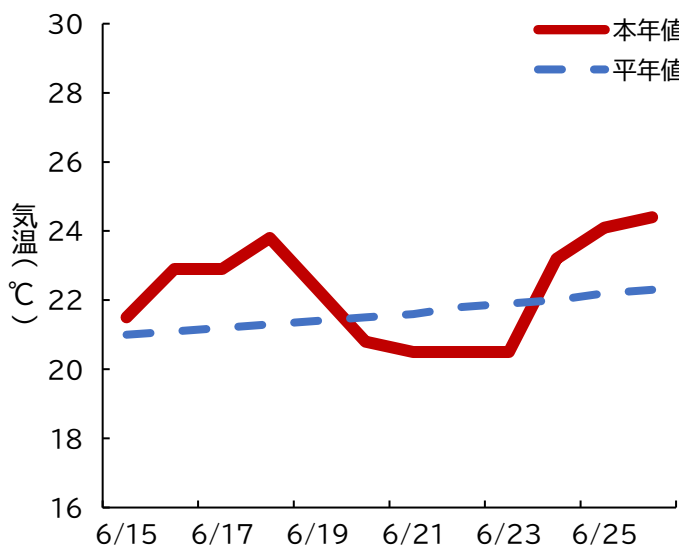


図1 日平均気温の推移(アメダス、横芝光)

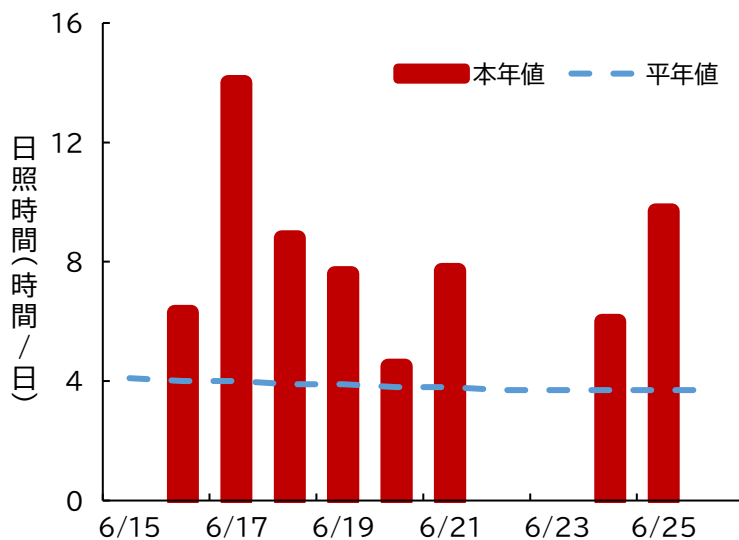


図2 日照時間の推移(アメダス、横芝光)

## 出穂期予測(6月26日現在)\*1

| 移植日  | 品種    |       |       |      |
|------|-------|-------|-------|------|
|      | ふさおとめ | ふさこがね | コシヒカリ | 粒すけ  |
| 4/20 | 7/10  | 7/11  | 7/19  | 7/18 |
| 5/1  | 7/15  | 7/17  | 7/25  | 7/24 |
| 5/15 | 7/23  | 7/24  | 8/1   | 8/1  |

\*1 予測日は水稻生育予測システム「でるた™」を用いて予測しています(アメダス横芝光)。移植時の苗の状態、活着状況、ほ場の気象条件、予測日以降の気象条件により誤差がある場合があります。

## 病害虫発生予察情報(6月14日現在)

| 病害虫名       | 予想発生量(平年比較) | 防除上の注意事項                  |
|------------|-------------|---------------------------|
| いもち病(葉いもち) | 並           | 発病を確認次第、薬剤防除する。           |
| 紋枯病        | 並           | 粒剤による薬剤防除は出穂20日前頃に行う。     |
| イネクロカメムシ   | 多           | 成虫飛来期であり、発生が多い場合は薬剤防除をする。 |

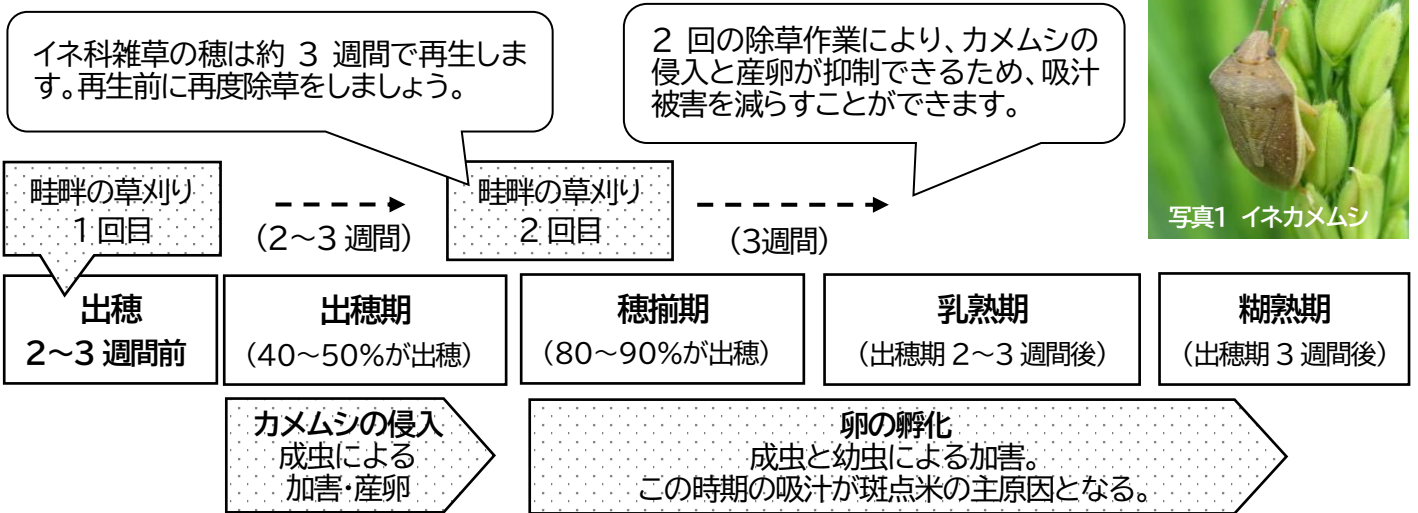
\*詳細は病害虫防除課のホームページをご覧ください。



## これからの管理のポイント

○畦畔の草刈りは雑草の穂が出る前に！

斑点米の原因となるカメムシ類の多くは、針葉樹林や雑草地で越冬・増殖し、稲の出穂前は畦畔のイネ科雑草の穂を吸汁しています。そして水稻が出穂したタイミングで水田へ移ってきます。そのため、カメムシの密度低減には雑草地や畦畔の雑草防除が重要です。除草作業は2回の除草作業をタイミング良く行うことがポイントです。雑草の穂が出る前に2回目の除草を行い、雑草の穂が出ない状態を維持しましょう。ただし、出穂後に除草作業を行うと水田へカメムシを追い込むことになるため、遅くとも出穂2週間前までには1回目の除草作業を実施しましょう。



### コラム③ 薬剤防除のタイミング ~必要なときだけ必要な防除を~

中干しが終わり、稲作も後半戦に突入しました。これからの時期はいもち病、紋枯病、斑点米カメムシなど、病虫害の防除の機会が増えます。効率良くムダの少ない防除を行うには、発生時期、発生しやすい部位、防除適期を考慮することがポイントです。

#### ○いもち病

いもち病は予防が最も効率的な防除法です。常発ほ場では箱施用剤や、初発前に予防効果のある粒剤や豆つが剤による防除を行いましょう。初発を確認した日を日誌等に記録しておくことで翌年以降の散布時期の目安になります。

例年発生しないほ場も、注意深く観察し、葉いもちの発生が見られたら治療効果のある薬剤を散布しましょう。



写真2 いもち病の病斑

#### ○紋枯病

常発ほ場では箱施用剤や粒剤、豆つが剤による防除を検討しましょう。発生初期は株元に病徴が発生するため、ほ場を見回る際に株元をよく観察し、発生が見られる場合は穂ばらみ期に薬剤散布をしましょう。乳剤やフロアブル剤を散布する場合は株元にしっかりと薬剤液がかかるように意識して散布しましょう。



写真3 紋枯病の病斑

## 生育調査結果(6月26日現在)

\*本年値の( )内は平年値(過去10年)との差を示しています。

\*CS値とは、カラスケールによる数値を表しています。(調査は葉色計(SPAD)を用いています。)

### コシヒカリ

| 場所・移植日        | 年次 | 草丈(cm)    | 莖数(本/㎡)  | 葉齡        | 葉色(CS*値) | 幼穂形成期 |
|---------------|----|-----------|----------|-----------|----------|-------|
| 東金市<br>5/3 移植 | 本年 | 65.6(99%) | 301(65%) | 10.5(95%) | 3.9(93%) | 6/26  |
|               | 前年 | 65.0      | 350      | 11.6      | 4.3      | 6/30  |

### ふさこがね

| 場所・移植日        | 年次 | 草丈(cm)    | 莖数(本/㎡)  | 葉齡        | 葉色(CS*値) | 幼穂形成期 |
|---------------|----|-----------|----------|-----------|----------|-------|
| 山武市<br>5/3 移植 | 本年 | 56.6(95%) | 378(66%) | 10.3(96%) | 4.4(88%) | 6/28  |
|               | 前年 | 54.9      | 584      | 10.3      | 5.1      | 6/24  |

### ふさおとめ

| 場所・移植日        | 年次 | 草丈(cm)    | 莖数(本/㎡)  | 葉齡        | 葉色(CS*値)  | 幼穂形成期 |
|---------------|----|-----------|----------|-----------|-----------|-------|
| 山武市<br>5/1 移植 | 本年 | 50.0(96%) | 335(62%) | 10.0(89%) | 5.4(107%) | 6/21  |
|               | 前年 | 51.0      | 591      | 11.4      | 5.2       | 6/24  |

### アキヒカリ

| 場所・移植日         | 年次 | 草丈(cm)     | 莖数(本/㎡)  | 葉齡         | 葉色(CS*値) | 幼穂形成期 |
|----------------|----|------------|----------|------------|----------|-------|
| 山武市<br>4/25 移植 | 本年 | 60.7(116%) | 479(81%) | 11.4(100%) | 5.6(96%) | 6/21  |
|                | 前年 | 52.5       | 594      | 11.4       | 5.5      | 6/24  |

### 夢あおば

| 場所・移植日         | 年次 | 草丈(cm)    | 莖数(本/㎡)  | 葉齡         | 葉色(CS*値) | 幼穂形成期 |
|----------------|----|-----------|----------|------------|----------|-------|
| 山武市<br>5/18 移植 | 本年 | 51.3(93%) | 371(98%) | 10.3(113%) | 5.4(92%) | (7/8) |
|                | 前年 | 49.3      | 380      | 9.1        | 5.9      | 7/8   |

農林総合研究センター 成東育成地 による生育調査結果(6月26日現在)

\*調査は全て山武市で行われています。

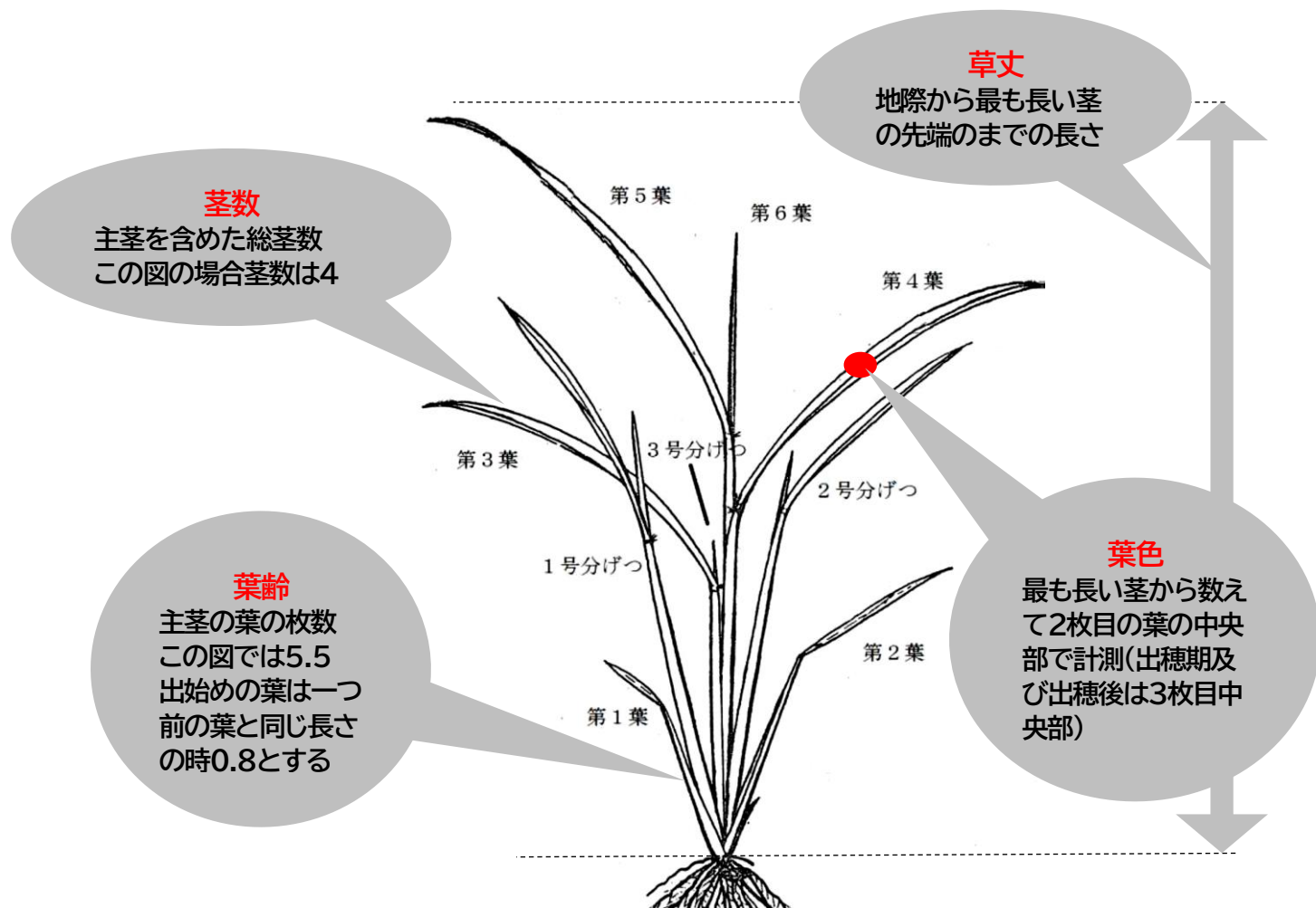
\*本年値の( )内は平年値(過去10年)との差を示しています。

\*CS値とは、カラースケールによる数値を表しています。(調査は葉色計(SPAD)を用いています。)

| 品種 移植日           | 年次 | 草丈(cm)     | 茎数(本/数)   | 葉齢         | 葉色(CS)値   | 幼穂形成期 |
|------------------|----|------------|-----------|------------|-----------|-------|
| コシヒカリ<br>4/25 移植 | 本年 | 62.3(101%) | 616(122%) | 10.6(102%) | 4.1(103%) | 6/23  |
|                  | 前年 | 61.4       | 516       | 10.8       | 3.9       | 6/26  |
| ふさこがね<br>4/25 移植 | 本年 | 57.7(111%) | 436(76%)  | 10.8(105%) | 5.7(108%) | 6/20  |
|                  | 前年 | 46.5       | 553       | 10.0       | 5.1       | 6/19  |
| ふさおとめ<br>4/25 移植 | 本年 | 55.0(109%) | 394(70%)  | 11.1(105%) | 5.0(105%) | 6/19  |
|                  | 前年 | 47.5       | 493       | 10.4       | 4.8       | 6/15  |
| 粒すけ<br>4/25 移植   | 本年 | 58.5(100%) | 572(111%) | 11.3(100%) | 4.7(108%) | 6/23  |
|                  | 前年 | 59.1       | 462       | 11.1       | 4.1       | 6/26  |
| 粒すけ<br>5/15 移植   | 本年 | 51.9(132%) | 450(103%) | 10.7(110%) | 5.0(93%)  | -     |
|                  | 前年 | 39.2       | 436       | 10.0       | 5.4       | -     |

・データの見方(調査基準について)

以下の図を参考に、稲を観察し、調査地点の数値と比較してみましょう。



次回の発行は7月27日を予定しています。